

生野鉾山町は市川沿いにおよそ7キロメートルに及んでいる。かつては、鉄道が鉾山から川沿いに町まで通っていたが、今日では昔の線路の一部しか残っていない。あるものは今でも姫宮橋に見ることができ、その橋からは川を見渡せ、町の素晴らしい景観を眺めることができる。生野の頂上には昔の精錬工場が建っていて、それは1874年に建てられ、今も活発に錫の精錬を行っている。町の中心は口銀谷として知られているが、多くのさまざまな時代からの屋敷や建物が集まっている。あるものは江戸時代(1603-1867)にまでさかのぼる。その一つで「井筒屋」として知られているものは吉川家の屋敷で、吉川家は江戸時代に生野鉾山の指揮を執っていた。屋敷は1999年に寄付され、町の歴史からの興味深い人工遺物を展示している。志村喬博物館には三菱鉾業会社により、従業員のために建てられた家々が展示されている。これらの家々は明治(1868-1912)、大正(1913-1926)、昭和(1926-1989)期に及ぶもので、さらにそれらの時代の家具や家電製品も展示されている。